



2021年12月23日

各位

会社名 株式会社 フコク

代表者 代表取締役社長 小川 隆

(コード番号 5185 東証第1部)

問合せ先 取締役 常務執行役員

企画本部長 大橋 由宏

(TEL 048-615-4400)

## 当社ワイパー事業の増強に関するお知らせ

当社のワイパーブレードラバーは、2020年に経済産業省「新グローバルニッチトップ企業100選※」に選出されるなど高い評価をいただいております。日本国内純正品（OEM）90%、グローバルOEM約40%を超える世界No.1の圧倒的なシェアと品質を誇る、当社の中核事業であります。

この圧倒的なポジションを揺るぎなきものとするために、下記の取り組みを決定いたしましたのでご報告いたします。

### 1. 世界生産能力の増強

グローバルOEM50%獲得を目標に、2025年度中にグローバルの生産能力を現在の2.4億本から3億本へ拡大してまいります。タイにおいては、主力工場であるサイアムフコクコート第2工場の生産規模を拡大し、世界最大の規模とコスト競争力を持つ工場としてより一層強化し、2022年度中に年間生産1.4億本体制を整備いたします。更に、金型工場とラボラトリーを併設し、開発から量産までの一貫体制を整え、最高品質・最短納期を実現させ収益に貢献いたします。なお、タイにおける総投資規模は今後20億円を予定しております。

### 2. 研究開発力の強化とEV化・脱炭素化への取り組み

最大市場の中国においては、上海テクニカルセンターを2022年春までに上海富国有限公司内に設立し、ローカルスタッフ10名に加え、日本からも技術者数名を派遣し体制を整備いたします。これにより、EV化の進展が加速する中国のお客様からの開発期間短縮のご要請に応えるための共同開発体制を整え、お客様ニーズへのより迅速で、きめ細かな対応を実現して、中国での商権を確保してまいります。ワイパーシステム全般の技術支援はもちろんのこと、性能評価や研究開発の強化にも努めてまいります。

日本においては、持続可能な脱炭素社会に貢献する材料および製品、環境を考慮した、新しいものづくり技術をより一層強化してまいります。そのため、2022年度には、技術開発本部を中心に適切な組織体制に再編いたします。

### 3. 今後の見通し

本件が2022年3月期の連結決算に与える影響は軽微です。

※2020年6月30日（火）経済産業省主催

・選定部門：（1）機械・加工部門

・対象：新車装着用ワイパーブレードラバー

（経済産業省 2020年度版グローバルニッチトップ企業100選）

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/gnt100/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/gnt100/index.html)